



## 2024年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年3月14日

上場会社名 リンカーズ株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5131 URL https://corp.linkers.net  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳宏  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 江頭 宏一 TEL 03 (6822) 9585  
四半期報告書提出予定日 2024年3月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
四半期決算説明会開催の有無: 有 (個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年7月期第2四半期の業績 (2023年8月1日～2024年1月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第2四半期	659	△6.3	△160	-	△160	-	△113	-
2023年7月期第2四半期	703	-	△32	-	△39	-	△41	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第2四半期	△8.26	-
2023年7月期第2四半期	△3.21	-

- (注) 1. 2022年7月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年7月期第2四半期における対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第2四半期	1,925	1,745	90.6
2023年7月期	2,083	1,843	88.5

(参考) 自己資本 2024年7月期第2四半期 1,745百万円 2023年7月期 1,843百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年7月期	-	0.00	-	-	-
2024年7月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2024年7月期の業績予想 (2023年8月1日～2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,842	14.6	53	△37.7	52	△34.0	45	△55.2	3.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期2Q	13,747,000株	2023年7月期	13,638,000株
② 期末自己株式数	2024年7月期2Q	一株	2023年7月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期2Q	13,711,277株	2023年7月期2Q	12,922,141株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第2四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第2四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年5月の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類5類への移行による経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調となりました。しかしながら、地政学リスクの拡大、世界各国の金融政策による円安傾向の継続、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費等の上昇に伴う物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社は、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指すために、マッチングプラットフォームの運営を中心としたビジネスマッチング事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、調達支援サービス「Linkers Trading」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び当該事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

当社が取り組むビジネスマッチング事業は、企業研究費の投下による新技術創出への動向や、製造業を中心とした設備投資の再開、地域金融機関の収益多様化に向けた取り組みなど、オープンイノベーションへの投資領域の拡大に伴い、需要は拡大していくと想定しております。一方で、長期化しているウクライナ紛争や中東情勢の深刻化などによる地政学リスクの高まりや、サプライチェーンの混乱による企業活動の停滞、金融不安等の影響は、ものづくりの現場を直撃しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境の中、探索・マッチングサービスにおいては、「Linkers Sourcing」並びに「Linkers Marketing」は、前期より取り組んでいる海外探索の営業活動も徐々に成果が出始め、地域活性化を目的とした地方のものづくり企業のイノベーション創出と、販路拡大を推進していくための地方自治体向け業務支援案件も好調となり、着手件数は109件（前年同期105件）と持ち直しの兆しが見えつつあります。

また、金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」並びに事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」を合わせた「LFB」は、新たに2機関に導入がなされたことで累計導入機関数が38機関（前年同期31機関）となり、ストック収益基盤は堅調に伸長しております。

リサーチサービスにおいては、前年度売上が好調であったマルチクライアントリサーチ（複数の企業に参加を募り、その調査結果を参加企業に限定して提供）の人気化テーマの減少に伴う販売活動の遅れにより、「Linkers Research」の調査件数が139件（前年同期232件）と減少したことで、売上が低調に推移いたしました。

コスト面については、「Linkers Research」の売上高減少に伴うリサーチ外注費用の減少等により費用抑制がなされた一方で、将来の業容拡大に向けた強化施策である人材採用が進んだことによる人件費の増加や、情報セキュリティ施策強化によるシステム関係費用等が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は659,510千円（前年同期比6.3%減少）、営業損失160,075千円（前年同期は営業損失32,932千円）、経常損失160,513千円（前年同期は経常損失39,321千円）、四半期純損失113,193千円（前年同期は四半期純損失41,477千円）となりました。

なお、当社はビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ157,197千円減少の1,925,964千円となりました。これは主に、無形固定資産の増加38,365千円、繰延税金資産の増加48,464千円一方で、現金及び預金の減少159,328千円、売掛金の減少50,310千円等によるものであります。

#### （負債）

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ59,457千円減少の180,644千円となりました。これは主に、未払法人税等の減少23,980千円、借入金の返済による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少23,748千円等によるものであります。

## （純資産）

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ97,739千円減少の1,745,319千円となりました。これは、新株予約権の行使及び譲渡制限付株式報酬としての新株発行に伴い、資本金及び資本準備金がそれぞれ7,727千円増加した一方で、四半期純損失113,193千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は90.6%（前事業年度末は88.5%）となりました。

## （3）キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前事業年度末と比べ159,328千円減少の1,243,809千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、減少した資金は86,697千円（前年同期は61,153千円の減少）となりました。これは主に、減価償却費31,881千円、売上債権の減少額50,310千円を計上した一方で、税引前四半期純損失160,513千円等の計上によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は52,412千円（前年同期は56,642千円の減少）となりました。これは、無形固定資産の取得による支出52,412千円によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は20,218千円（前年同期は246,970千円の増加）となりました。これは主に、新株予約権の行使による株式の発行による収入3,530千円の一一方で、長期借入金の返済による支出23,748千円によるものであります。

## （4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の業績予想につきましては、2023年9月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2024年1月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,403,138	1,243,809
売掛金	169,835	119,524
仕掛品	9,336	10,660
その他	124,956	82,856
流動資産合計	1,707,266	1,456,851
固定資産		
有形固定資産		
建物	41,997	40,188
工具、器具及び備品	12,903	11,384
有形固定資産合計	54,900	51,572
無形固定資産		
ソフトウェア	188,620	208,803
ソフトウェア仮勘定	936	19,119
無形固定資産合計	189,557	227,923
投資その他の資産		
敷金及び保証金	57,009	55,795
繰延税金資産	74,323	122,788
その他	103	11,033
投資その他の資産合計	131,436	189,617
固定資産合計	375,894	469,112
資産合計	2,083,161	1,925,964
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	28,746	9,996
未払法人税等	29,802	5,822
賞与引当金	19,480	21,360
その他	138,729	125,120
流動負債合計	216,758	162,298
固定負債		
長期借入金	23,344	18,346
固定負債合計	23,344	18,346
負債合計	240,102	180,644
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	237,338	245,065
資本剰余金	979,213	986,940
利益剰余金	626,508	513,314
株主資本合計	1,843,059	1,745,319
純資産合計	1,843,059	1,745,319
負債純資産合計	2,083,161	1,925,964

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
売上高	703,601	659,510
売上原価	250,424	247,118
売上総利益	453,176	412,391
販売費及び一般管理費	486,109	572,466
営業損失(△)	△32,932	△160,075
営業外収益		
その他	248	126
営業外収益合計	248	126
営業外費用		
支払利息	518	294
株式交付費	3,303	—
上場関連費用	2,815	—
その他	—	270
営業外費用合計	6,637	564
経常損失(△)	△39,321	△160,513
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純損失(△)	△39,321	△160,513
法人税、住民税及び事業税	1,145	1,145
法人税等調整額	1,010	△48,464
法人税等合計	2,155	△47,319
四半期純損失(△)	△41,477	△113,193

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失 (△)	△39,321	△160,513
減価償却費	30,953	31,881
株式報酬費用	—	993
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,630	1,880
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,120	—
支払利息	518	294
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,373	50,310
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,056	△1,324
その他	△15,992	5,804
小計	△60,022	△70,673
利息の支払額	△601	△284
法人税等の支払額	△530	△15,739
営業活動によるキャッシュ・フロー	△61,153	△86,697
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△56,642	△52,412
投資活動によるキャッシュ・フロー	△56,642	△52,412
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△27,706	△23,748
株式の発行による収入	266,616	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	8,060	3,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	246,970	△20,218
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	129,173	△159,328
現金及び現金同等物の期首残高	1,197,266	1,403,138
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,326,440	1,243,809



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年10月26日開催の取締役会決議に基づき、当社取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式の発行を行い、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,962千円増加しております。

この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が245,065千円、資本剰余金が986,940千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年1月31日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期累計期間（自 2023年8月1日 至 2024年1月31日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。